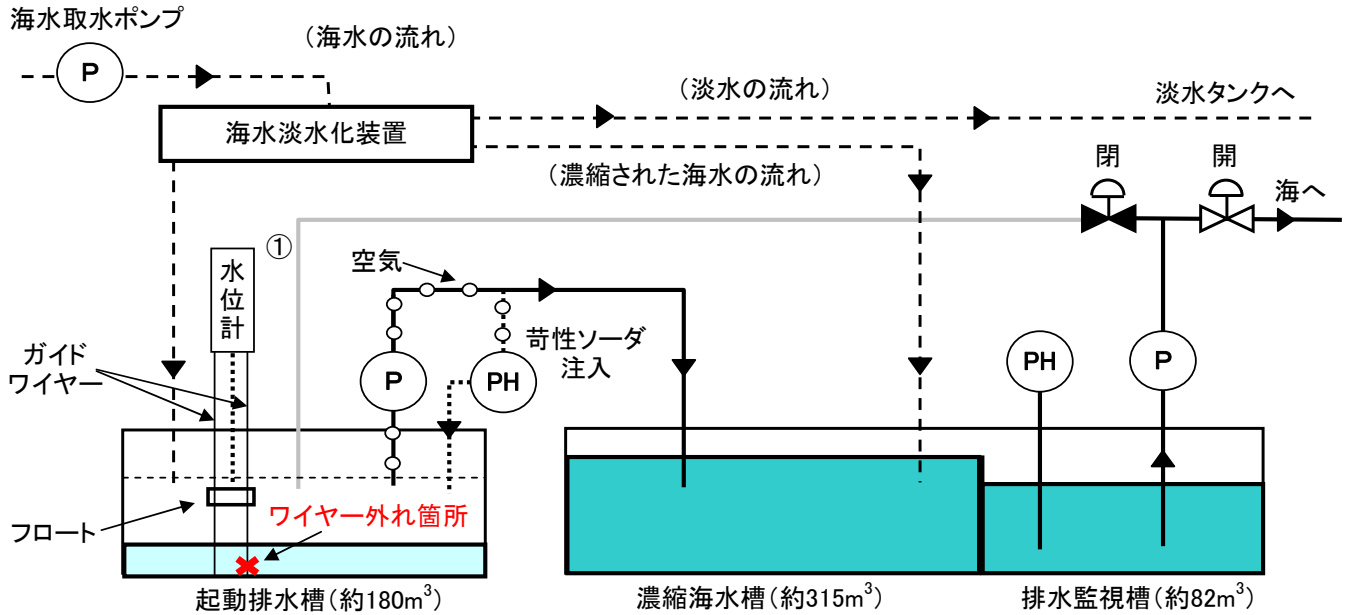
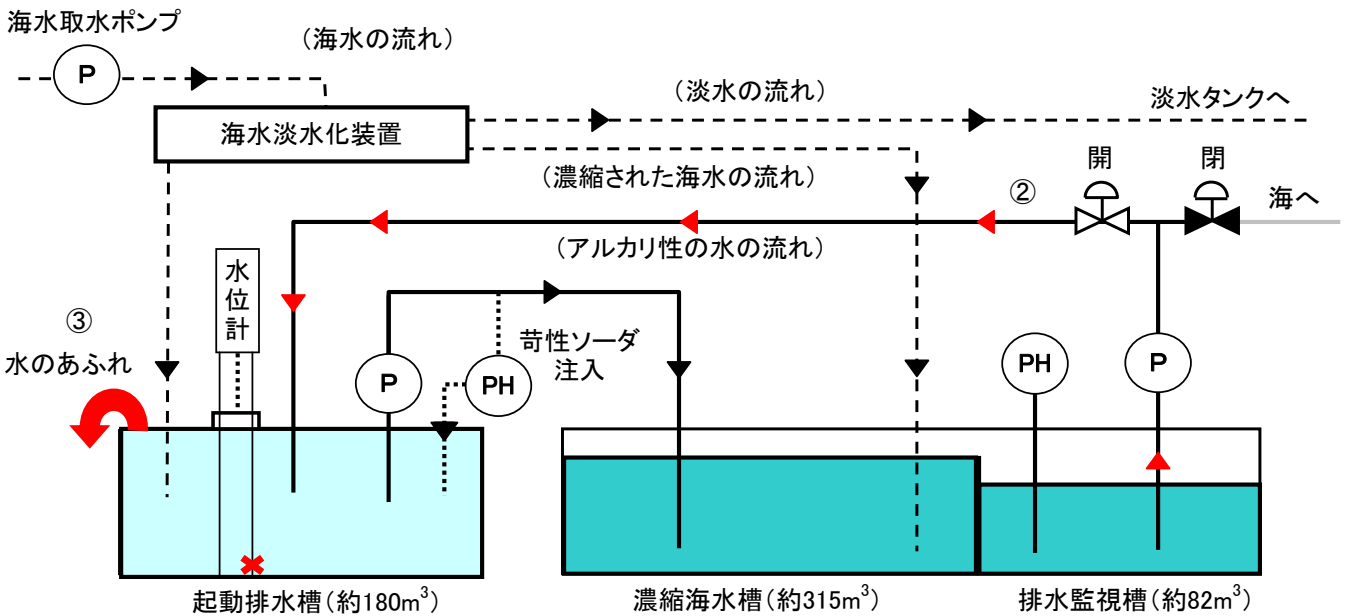


大飯発電所3, 4号機 海水淡水化装置の処理水の水槽からのあふれについて

処理水があふれた仕組み



①起動排水槽の水位計の不調<sup>\*</sup>により、従来とは逆の濃縮海水槽から起動排水槽へ水を移送するなどして、点検を行っていました。  
<sup>\*</sup>起動排水槽の水位計のガイドワイヤーの1本が外れ、フロートの動きが悪くなったことから、正しい水位を測定できなかったことが判明しました。



②濃縮海水槽の水を起動排水槽へ回収するラインへ自動で切り替わりました。  
 ③濃縮海水槽のポンプを直ちに停止しなかったため、起動排水槽の水のあふれが発生したものと推定しています。

水位計およびpH計の点検結果

<sup>\*</sup> 水位計: 外れていたガイドワイヤーを新品に取り替え、動作試験を行い、健全性を確認。  
<sup>\*</sup> pH計: 空気が混入すると一時的に指示値が低下し、水中では正常な値を示すことを確認。

対策

- 海水淡水化装置および濃縮海水槽のポンプを停止する手順の見直し
- 濃縮海水槽のポンプを自動停止するインターロックの検討